

〔春陽会洋画研究所 第二回大コンクール〕

春陽会洋画研究所 第二回大コンクール規定

(原典、送仮名カタカナ表記)

- 一、種目 石膏デッサン、人体デッサン(全身)
但し木炭紙にして木炭デッサンなること
- 期間 自昭和八年十二月十一日(月曜日)
至 全同年全 月十五日(金曜日) 五日間
- 時間 午前(九時—十二時半)／午後(十二時半—四時)／夜間(六時—九時半)
- 二、石膏及石膏の位置、モデル及モデルのポーズは生徒コンクール委員之を決定す
- 三、参加者資格 研究生及特待生
- 四、申込は別紙申込書によること
- 五、参加者の場所の選択は第一日の出席順による
- 六、審査委員 委員長 木村莊八先生(現在当番)
其他の委員は委員長の撰定による
- 七、審査方法 審査委員の裁量による
- 八、成績発表 十二月十六日午後 生徒コンクール委員之を発表す
- 九、授賞 石膏、人体両部より各三名を受賞者とし賞品を授与す
- 十、賞を受けたる作品は研究所へ納むるものとする
- 十一、参加者は棄権することを許さず
- 十二、コンクール週間は一般研究生も一週間制(二円五十錢)を適用す
- 十三、生徒コンクール委員 委員長(主席幹事) 佐藤篤郎
昼間委員 江川多亥知
鷹野忠一
夜間委員 古田 彰
高野一郎
- 十四、規定以外のことは生徒コンクール委員之を決定す

以上

昭和八年十二月五日

春陽会洋画研究所 生徒委員会

先般コンクールの節は、歳末一入御多忙の折柄御柱駕懇切御審査下され
まことにありがたく御礼申上候

先生

第二回大コンクール成績報告

一、参加者数 人体 廿八名 / 石膏 五名

棄権なし

一、審査委員 氏名 (投票順)

坂口右左視先生	真田久吉先生	加山四郎先生
水谷清先生	小穴隆一先生	横堀角次郎先生
倉田白羊先生	石井鶴三先生	木村莊八先生

一、成績 (採点は一人再興八十点、裁定三十点とせり)

〔人体部〕

賞一 吉岡松三郎	五九九点	賞二 佐藤篤雄	五九五点
賞三 高木勇次	五八〇点	四 加藤景一	五六八点

五 土屋 實	五六六点	六 久 久男	五六五点
七 鷹野忠一	五六四点	八 江川多亥知	五六二点
九 川越ハナ	五四四点	十 古田 彰	五四三点
十一 清水 弘	五四一点	十二 森田 博	五三二点
十三 金子清之介	五二五点	十四 小島忠三	五〇九点
十五 原 學	四八二点	十六 彌富愛篤	四七七点
十七 大久保静子	四七二点	十八 早坂喜一郎	四六九点
十九 落合泰八	四六一点	廿 矢田卿二	四六〇点
廿一 小川 昌	四五五点	廿二 柴田恕夫	四五四点
廿三 一木梅太郎	四三八点	廿四 高見沢隆明	四〇八点
廿五 河津義太郎	四〇〇点	廿六 磯田新一	三九九点
廿七 田中林治	三七三点	廿八 武井駒太郎	三五五点

〔石膏部〕

賞一 長野英夫	四二五点	二 山下 博	四一八点
三 前田 勇	三五〇点	四 戸塚正夫	三二八点
五 新井芳朗	三二二点		

昭和八年十二月十九日

生徒コンクール委員